

新潟県知事選挙公報

新潟県選挙管理委員会

原発のない未来へ

- 1 “原発ゼロ”のにいがた
- 2 “真の豊かさ”を実感できるにいがた
- 3 “暮らしやすさ日本一”のにいがた
- 4 誰もが豊かで、質の高い教育を受けられるにいがた
- 5 県民にもっとも近い“対話型県政”のにいがた

池田ちかこプロフィール

昭和36年 柏崎市中浜で生まれる
 昭和54年 新潟県立柏崎常盤高校卒業
 昭和56年 歯友会歯科技術専門学校(現 明倫短大)卒
 昭和56年 柏崎市役所初任の歯科衛生士として入職
 平成15年 柏崎市議会議員初当選、以降3期連続当選

平成16年 ケアマネージャー(介護支援専門員)資格取得
 平成18年 早稲田大学人間科学部人間環境科学科(通信制)入学
 平成22年 早稲田大学卒業
 平成23年 柏崎市議会副議長就任
 平成27年 新潟県議会議員初当選

家族 夫、夫の母、犬のアルマ、猫のくるりと一緒に暮らす 一男一女はすでに成人 孫は一人
 大切にしている事/米づくり、走ること

[池田ちかこ新潟事務所] 〒950-0940 新潟市中央区池田4-9-27
 URL <http://www.ikedachikako.sakura.ne.jp/> Twitter @ikedachikako

池田ちかこ 検索

みんなの力で 女性の知事を

県民のみなさん、こんにちは。私は、柏崎市で生まれ育ち二十二年間歯科保健の仕事をしてきました。多くのみなさんのお力を頂き、市議会議員となりました。仕事をしながらケアマネージャーの資格を取得して、地域の人々と触れ合ってきました。大地震や豪雨災害に直面し、地球環境について早稲田大学で学びました。

私には特別な才能はありませんが、人々に寄り添い、みなさんの喜ぶことが少しでも豊かに、幸せになるよう努力してきました。福島原発事故の「三つの検証」作業は緒に付いたばかり、これからが正念場になります。「米山路線」をしっかりと継承するとともに、結果が出るまで再稼働は認められない！私は信念を貫いて参ります。どうかみなさんのお力をお与え下さい！心からお願ひ申し上げます。

池田ちかこ



池田ちかこ

安中さとしプロフィール

1977年12月6日	新潟県中蒲原郡村松町(現 五泉市)に生まれる。
1990年3月	大蒲原小学校 卒業。
1993年3月	山王中学校 卒業。
1996年3月	新潟県立加茂農林高等学校農業科 卒業。
2001年3月	立正大学文学部史学科夜間主コース 卒業。
2010年6～7月	参議院議員選挙に立候補し出馬。一人で自転車に乗って新潟県内を周り、教育について訴えるも、六人中五位の24,300票で惜敗し落選。
2011年	五泉市議会議員選挙にて、約1376票を得て当選。
2015年	議会から数々の出席停止の懲罰を受けるも、市民の力によって五泉市議会議員選挙にて2,093票を得て2期目でトップ当選。
2018年1月	五泉市長選挙に立候補し、出馬。7632票獲得したが惜敗し落選。

自宅 〒959-1756 五泉市刈羽丙 965-2
 TEL 0250-58-4851
 E-mail annaka_seizyou@yahoo.co.jp
 公式HP <https://annakasatoshi.wixsite.com/epg2018>

若さ、行動力！ 未来へのバトン

≫1 利権構造からの脱却

県民のみなさんの声
 ●会社や商売関係も含めて、周囲の目が気になり、自分が正しいと思うことを言えない
 ●将来の子供たちの負担になる、借金だらけの国からの補助金に頼りたくない

目指すべき新潟県
 人権が守られ、正しいことを正しいと言える、公正で公平な社会を実現するとともに、経済でも自立した素晴らしい新潟県を実現

≫2 子どもたちに未来へのバトンを

県民のみなさんの声
 ●医師不足で必要な医療を受けることが出来ない
 ●安心して子育て出来ない
 ●人口減少を何とかして欲しい

目指すべき新潟県
 県民の声を聞き、医療、福祉、子育て、教育等の問題解決に取り組み、安心安全な新潟県を実現

≫3 世界から必要とされる新潟県へ

県民のみなさんの声
 ●経済が低迷しているし、職もない
 ●新潟県の各種産業について、将来の展望が描けない
 ●世界人口の増加による将来の食料不足が心配

目指すべき新潟県
 世界貿易を容易にするため情報機関を創設し、農業立国である新潟県の農業に力を入れ、食料輸出をテコに、商工業等でも世界から必要とされる新潟県を実現

≫4 原発への反対、原発の廃止

県民のみなさんの声
 ●原発事故、放射能汚染によって、今の生活や子供の未来が壊滅することが怖い
 ●電力(エネルギー)供給に不安がある
 ●危険な原発に頼らない新潟県にして欲しい

目指すべき新潟県
 新しいエネルギー研究に力を入れ、新技術の確立を目指すとともに、原発を廃止して、万が一の危険もない、子供たちに安心してずっと住んでもらえる新潟県を実現



安中さとし

40才

すべての県民に安全・安心であたたかさあふれる県政の実現を。さあ、皆さんと一緒に！

皆さん、新潟県民の県政に対する信頼が今、大きく揺らいでいます。一刻も早く県政への信頼を取り戻し、県政を安定させなければなりません。私のこれまで国や、新潟県副知事としての行政経験と人的ネットワークを存分に活かし、皆様の信頼回復と安定そして活力みなぎる新潟の実現に取り組む覚悟です。

花角英世
 元新潟県副知事
 前海上保安庁次長

佐渡生まれ・新潟市育ち



はなずみ英世

ひでよ

プロフィール

昭和33年5月 新潟県佐渡生まれ
 昭和52年3月 新潟県立新潟高等学校卒業
 昭和57年3月 東京大学法学部卒業
 昭和57年4月 運輸省入省(現国土交通省)
 平成20年7月 国土交通省総合政策局観光政策課長
 平成20年10月 観光庁総務課長
 平成25年4月 新潟県副知事
 平成27年9月 海上保安庁次長(平成30年5月退官)

■(家族)妻・娘一人
 ■(趣味)山歩き・街歩き

●**原発は3つの検証をしっかりと進め、将来的には脱原発社会に全力**
 原発については3つの検証(福島原発事故の原因、健康生活への影響、避難計画)をしっかりと進め、その結果を見極めます。将来的には、原発に依存しない社会を目指し、県民の安心を守ります。

●**自助・共助・公助の連携と絆を深めることで地域力を強化し、防犯、防災など県民の安心安全に全力**
 子供はもとよりお年寄りに至るまで、全ての県民の安心のために、自助、共助、公助の連携で皆さんの絆を深め、地域力を高めることで防犯、防災、安心な生活の実現に努めます。

●**知事は新潟ブランドの発掘・育成・セールスに全力**
 新潟には美しい自然、豊かな食文化などたくさんのお宝があります。しかしながら現状はそれらが必ずしも生かされていません。知事はこれら新潟ブランド・セールスの先頭に立ち、新潟の人を呼び込み、雇用を増やすことに全力を尽くします。

●**県民の利便性向上と、活力みなぎる新潟の実現に全力**
 羽越新幹線、長岡から上越までの新幹線整備、新潟空港の整備等、県民の利便性向上と新潟の拠点性向上で県民くらし満足度ナンバーワンをめざします。また起業・創業に挑戦する人、事業拡大を目指す中小企業、新たに農業に取り組む人、街おこし・地域づくりに取り組む人など新潟でチャレンジする人を応援し、活力みなぎる新潟を目指します。

●**若者、子育て世代、お年寄りなど全ての世代が生き生きとくらせる社会の実現に全力**
 それぞれの世代の「思いや願い」に丁寧に耳を傾け、声の小さい方々にも寄り添い、一つ一つの課題に向かって取り組む県政の実現を目指します。

新潟県知事選挙

6月10日(日)

投票日

わたしたちの新潟へたいせつな1票を！

